

小学校理科

主として「知識」 平均正答率：55.7%（全国：61.3%） 平均無解答率：6.1%（全国：5.7%）

主として「活用」 平均正答率：56.7%（全国：60.5%） 平均無解答率：1.8%（全国：1.7%）

分類・区分集計結果

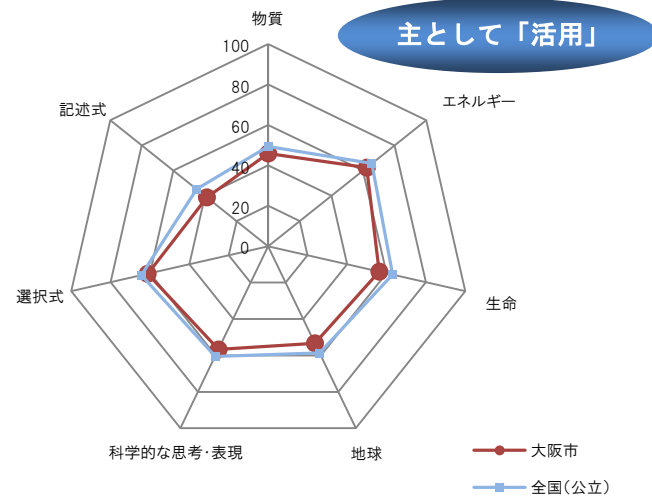
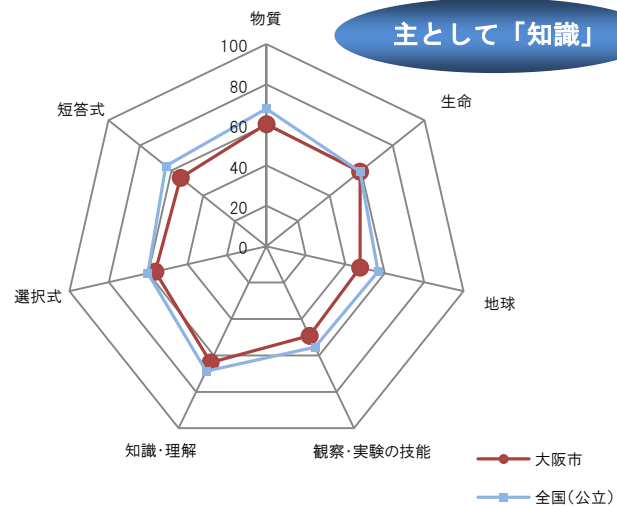
| 分類 | 区分 | | 主として「知識」に関する問題（全9問） | | | 主として「活用」に関する問題（全15問） | | |
|------------------|----------------|-------|---------------------|------------|-----------|----------------------|------------|-----------|
| | | | H27 対象 設問数 | 平均正答率(%) | | H27 対象 設問数 | 平均正答率(%) | |
| | | | | H27 大阪市 | H27 全国 | | H27 大阪市 | H27 全国 |
| 学習指導要領の 分野・領域 | A区分 | 物質 | 3 | 60.4 | 68.1 | 4 | 45.9 | 49.4 |
| | | エネルギー | 0 | — | — | 6 | 62.4 | 65.6 |
| | B区分 | 生命 | 3 | 59.2 | 59.2 | 3 | 56.4 | 63.2 |
| | | 地球 | 3 | 47.5 | 56.6 | 4 | 53.3 | 58.6 |
| 評価の観点 | 自然現象への関心・意欲・態度 | | 0 | — | — | 0 | — | — |
| | 科学的な思考・表現 | | 0 | — | — | 15 | 56.7 | 60.5 |
| | 観察・実験の技能 | | 5 | 49.2 | 55.5 | 0 | — | — |
| | 自然現象についての知識・理解 | | 4 | 63.8 | 68.6 | 0 | — | — |
| 問題形式 | 選択式 | | 6 | 56.4 | 60.2 | 12 | 61.2 | 64.3 |
| | 短答式 | | 3 | 54.3 | 63.6 | 0 | — | — |
| | 記述式 | | 0 | — | — | 3 | 38.8 | 45.3 |

※一つの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■主として「知識」に関する問題では、「地球」「観察・実験の技能」の項目で低い値を示しています。

■主として「活用」に関する問題では、「物質」「記述式」の項目で低い値を示しています。



設問から見られる具体的な成果と課題

- 【主として「知識」】 ◇ 「メダカの雌雄を見分ける方法の理解」にがんばりが見られます。
- ◆ 「顕微鏡の適切な操作技能に関する知識の定着」「水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念で理解すること」に努力が必要です。
- 【主として「活用」】 ◇ 「打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること」にがんばりが見られます。
- ◆ 「植物の成長の様子と日光の当たり方を適用して考察すること」「温度の変化に伴って変わる析出する量について、グラフを基に考察して分析すること」に努力が必要です。

中学校理科

主として「知識」 平均正答率：58.7%（全国：63.8%） 平均無解答率：8.6%（全国：7.8%）

主として「活用」 平均正答率：45.7%（全国：48.8%） 平均無解答率：7.3%（全国：6.7%）

分類・区分集計結果

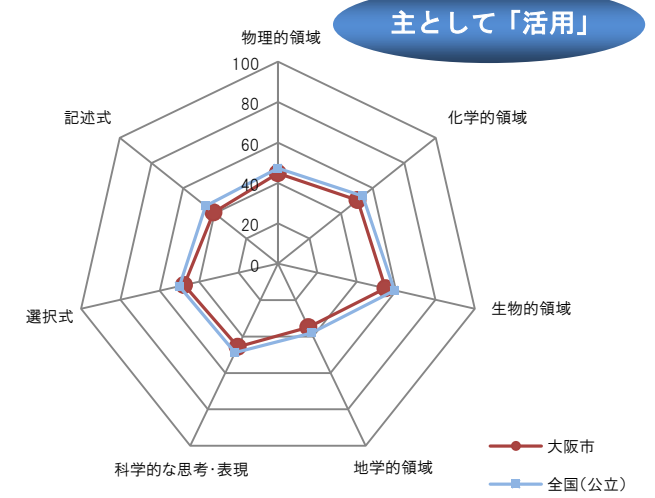
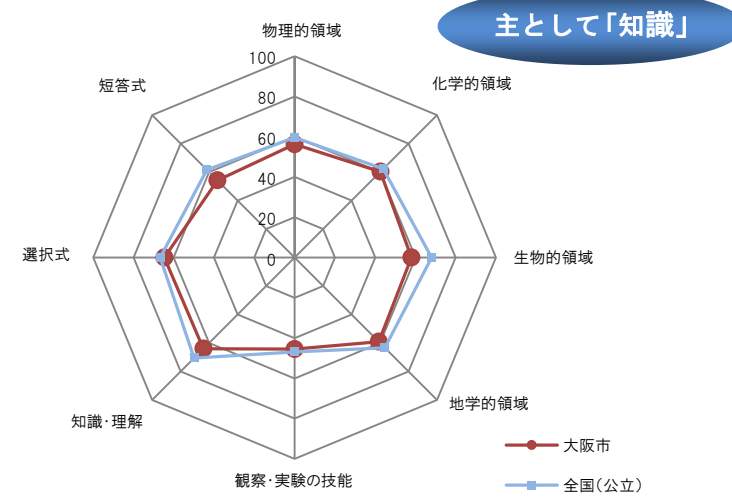
| 分類 | 区分 | | 主として「知識」に関する問題（全7問） | | | 主として「活用」に関する問題（全18問） | | |
|------------------|----------------|-------|---------------------|------------|-----------|----------------------|------------|-----------|
| | | | H27 対象 設問数 | 平均正答率(%) | | H27 対象 設問数 | 平均正答率(%) | |
| | | | | H27 大阪市 | H27 全国 | | H27 大阪市 | H27 全国 |
| 学習指導要領の 分野・領域 | 第一 分野 | 物理的領域 | 1 | 56.2 | 59.6 | 6 | 44.8 | 47.2 |
| | | 化学的領域 | 2 | 60.3 | 62.3 | 5 | 50.5 | 53.7 |
| | 第二 分野 | 生物的領域 | 2 | 58.0 | 68.1 | 4 | 54.7 | 59.2 |
| | | 地学的領域 | 2 | 59.1 | 63.3 | 4 | 34.9 | 38.1 |
| 評価の観点 | 自然現象への関心・意欲・態度 | | 0 | — | — | 0 | — | — |
| | 科学的な思考・表現 | | 0 | — | — | 18 | 45.7 | 48.8 |
| | 観察・実験の技能 | | 2 | 45.5 | 46.8 | 0 | — | — |
| | 自然現象についての知識・理解 | | 5 | 64.0 | 70.6 | 0 | — | — |
| 問題形式 | 選択式 | | 3 | 64.6 | 66.8 | 13 | 47.6 | 50.0 |
| | 短答式 | | 4 | 54.2 | 61.6 | 0 | — | — |
| | 記述式 | | 0 | — | — | 5 | 40.7 | 45.8 |

※一つの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■主として「知識」に関する問題では、「観察・実験の技能」の項目で低い値を示しています。

■主として「活用」に関する問題では、「地学的領域」の項目で低い値を示しています。



設問から見られる具体的な成果と課題

- 【主として「知識」】 ◆ 「特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めること」に努力が必要です。
- 【主として「活用」】 ◆ 「他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること」「音の高さは、空気の部分の長さに関係していることを確かめる実験を計画すること」に努力が必要です。